

Folder Explorer 使い方

Version 1.4

2021/03

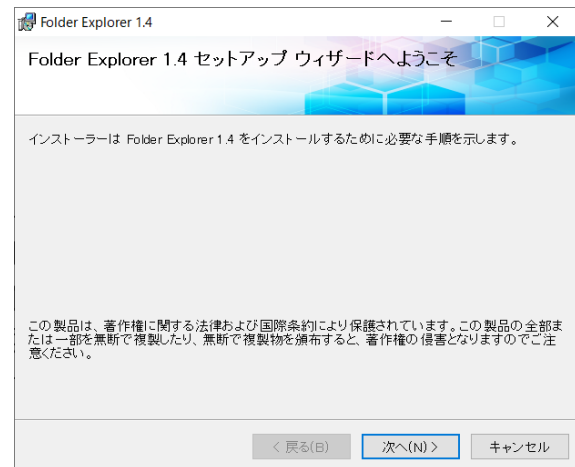
1. インストール基本的な使い方

1. インストール

Folder Explorerは、インストールファイル「setup.exe」を実行することで簡単にインストールすることができます。配布ファイルには、setup.exe と folderexplorersetup.msi の二つのファイルが含まれていますが、インストールにはこれら2つ、もしくはfolderexplorersetup.msi のファイルが必要です。

※ Folderexplorersetup.msi は、管理者が遠隔で自動インストール等を行う場合に使用されます。

① 「setup.exe」を実行します。

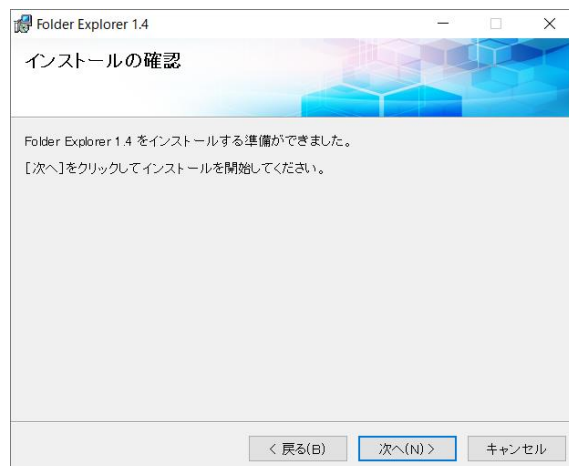


② インストールするフォルダーを選択します。
通常はデフォルトのフォルダーにインストールしますが、異なるフォルダーを選択することもできます。

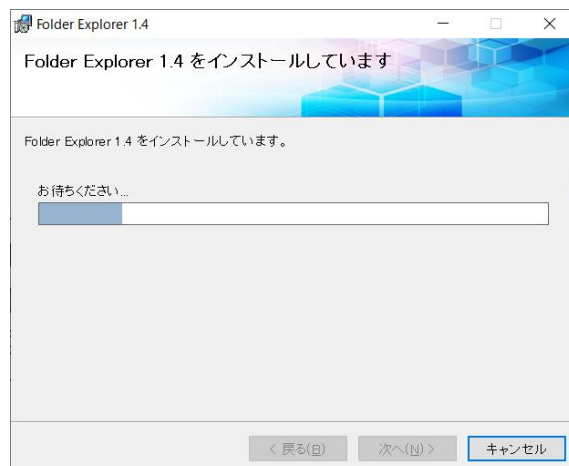


1. インストール：実行

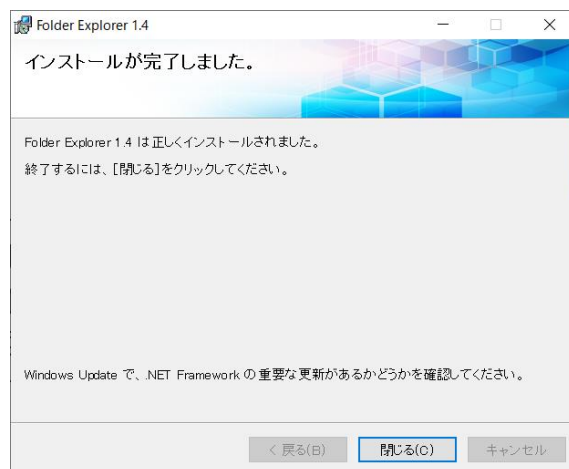
- ③ インストール先、適用ユーザーに変更がない場合は、「次へ」を選択し、インストールを行います。




- ④ インストールが実行されます。インジケーターが100%になるのを待ちます。

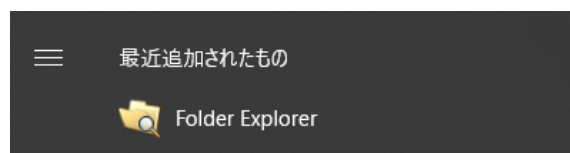


- ⑤ インストール完了です。
次に正しくインストールされていることを確認します。



1. インストール：確認

Windows キー「」を押し、プログラム一覧の「最近追加されたもの」として Folder Explorer がインストールされていることを確認します。



エクスプローラー上でフォルダーを選択し、コンテキストメニューを表示します。「Folder Explorer で探索」が表示されることを確認します。

※ コンテキストメニューの表示には、マウス右クリック、もしくは「」を押します。



2. 主な機能機能

2. 主な機能機能：



① 探索

クリックすることでフォルダ選択のダイアログが表示され、分析するフォルダを選択します。

② 更新

探索済みデータ、もしくは保存データとの差分探索を行います。

③ クリア

検索結果又は読み込んでデータを初期化します。

④ キャンセル

実行中探索プロセスを停止します。

⑤ オープン

保存したデータを読み込みます。データを読み込む事で対象フォルダへのアクセスが無くとも内容を参照することが出来ます。

⑥ 保存

探索結果を保存します。保存した内容は、探索することなく読み込むことで参照できます。

⑦ 名前を付け保存

一度保存したデータ又は読み込んだデータを異なる名前で保存します。

⑧ オプション

オプションダイアログを表示します。

2. 主な機能機能：結果表示内容



① ファイル

選択したフォルダ内のファイル一覧を表示します。サイズ比率等確認できます。

② フォルダ

選択したフォルダ以下のフォルダサイズ、比率等確認できます。

③ エラーファイル

選択したフォルダ以下の探索中にエラーが発生したファイル若しくはフルパス名のサイズが260文字を超えるファイルの一覧を確認できます。

④ 最終書込日

ファイル最終書込日毎の合計ファイルサイズ、合計ファイル数を確認することができます。

⑤ 作成日

ファイル作成日毎の合計ファイルサイズ、合計ファイル数を確認することができます。

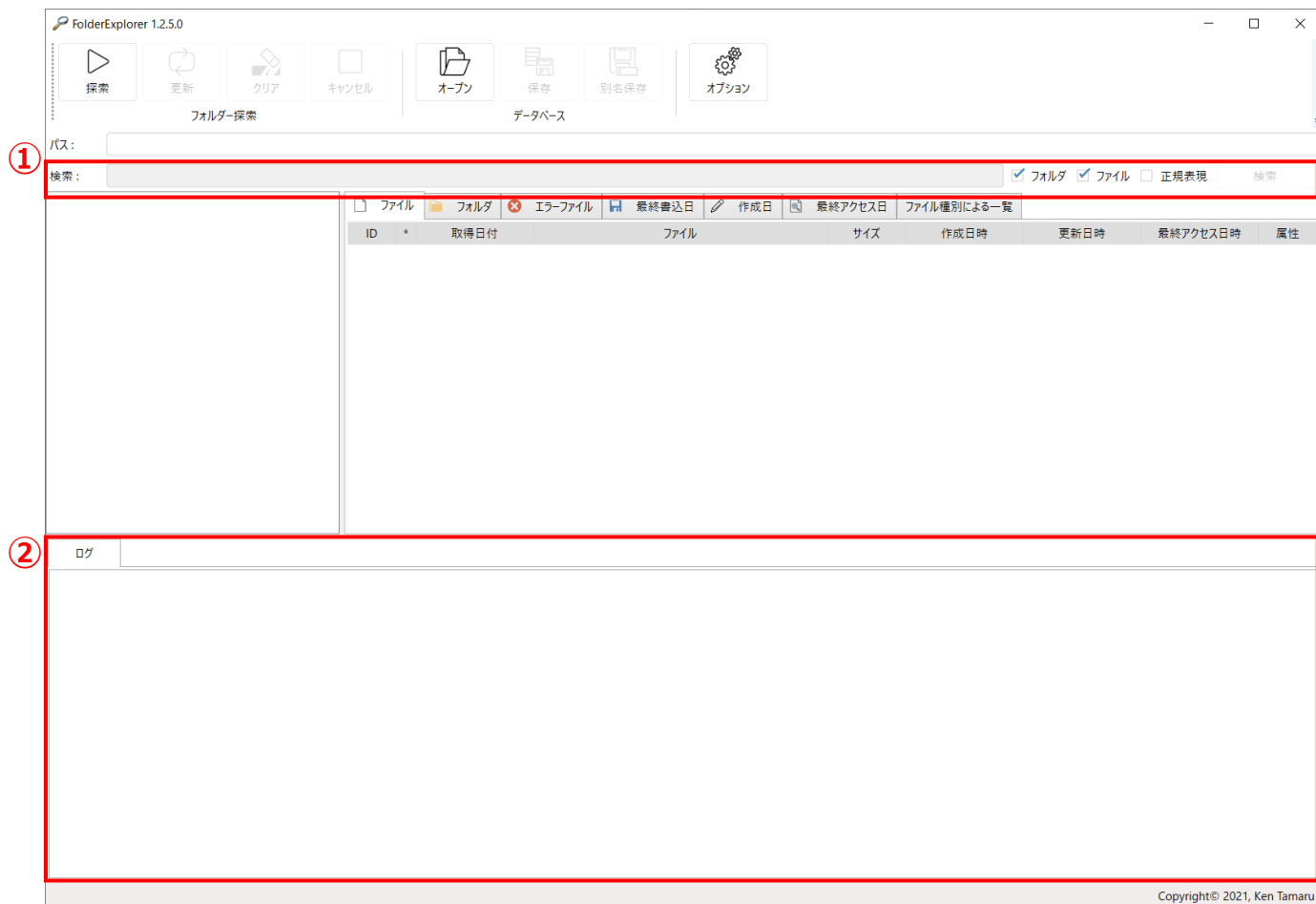
⑥ 最終アクセス日

最終アクセス日毎の合計ファイルサイズ、合計ファイル数を確認することができます。

⑦ ファイル種別による一覧

ファイル種別毎の合計ファイルサイズ、合計ファイル数を確認することができます。

2. 主な機能機能：検索と検索結果



① 検索

探索結果に対して検索することが出来ます。対象をフォルダー、ファイル若しくはその両方を指定し、検索するキーワードを入力後に「Enter」キー若しくは「検索」ボタンをクリックします。

② 検索結果

検索結果が一覧で表示されます。検索結果タブは、検索結果がある場合のみ表示されます。検索結果が無い場合は表示されません。

2. 主な機能機能：オプション設定

基本設定

① 検索スレッド数

同時並行して探索するフォルダの数を指定します。遅いネットワーク越しでは多めのスレッド数（5～7）、通常は3～4で設定します。

② 検索するフォルダ種別

探索するフォルダ属性を指定します。指定されていない属性のフォルダは探索結果に含まれません。

③ 検索するファイル種別

探索するファイル属性を指定します。指定されていない属性のファイルは探索結果に含まれません。

匿名化

④ フォルダー名

探索結果のフォルダー名がDをプリフィックスとするフォルダー名に置換されます。

⑤ ファイル名

探索結果のファイル名がFをプリフィックスとするフォルダー名に置換されます。

ファイルの更新検証対象

④ 更新検証対象

ファイル、フォルダの変更を検証する際の対象属性を指定します。ファイルハッシュ値を取得している場合は、属性が同じであっても内容が変更されていることを検知できます。

ファイルハッシュ計算

④ ファイルハッシュ計算

ファイルのハッシュ値の取得する際に使用するアルゴリズムを選択します。通常はNAを選択します。ハッシュアルゴリズムを指定した場合、フォルダー探索が遅くなります。また、OneDrive等のオフラインファイルはオンラインとなります。

デジタル署名

④ デジタル署名

実行ファイル等のデジタル署名を確認します。署名されている場合は、証明書の署名者情報を取得します。



2. 主な機能機能：探索方法①

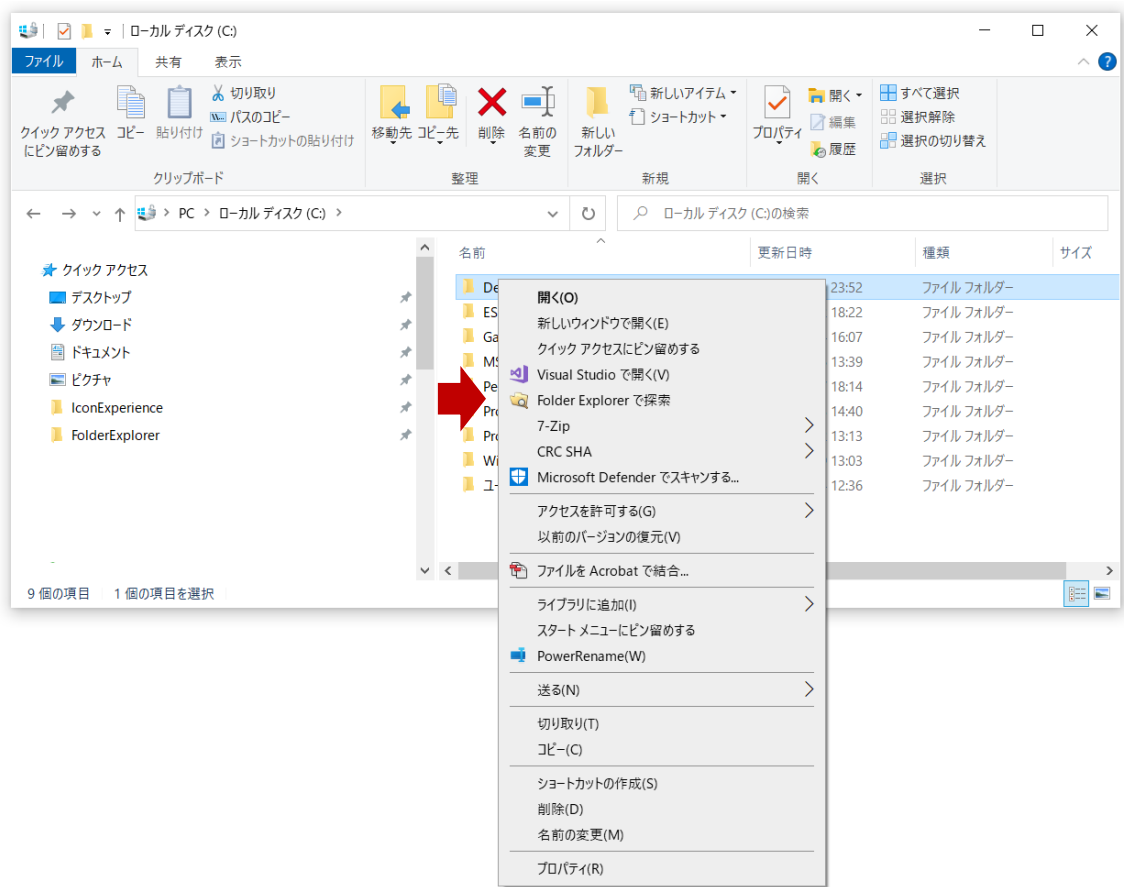
Folder Explorer のよるフォルダー分析は以下の 2 つの方法により実行できます。

方法 1

エクスプローラー上でフォルダーを選択し分析を実行


方法 2

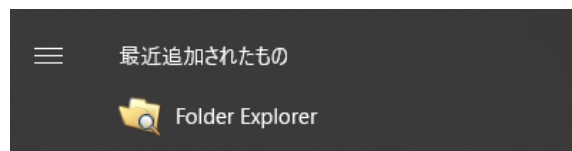
Folder Explorer を実行し、Folder Explorer の探索ボタンをクリックし実行



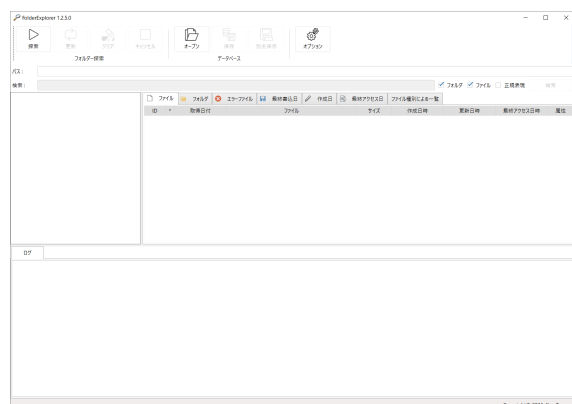
エクスプローラー上でフォルダーを選択し、マウス右クリック、もしくは「」キーを押してコンテキストメニューを表示し、「Folder Explorer で探索」をクリックします。

2. 主な機能機能：探索方法②

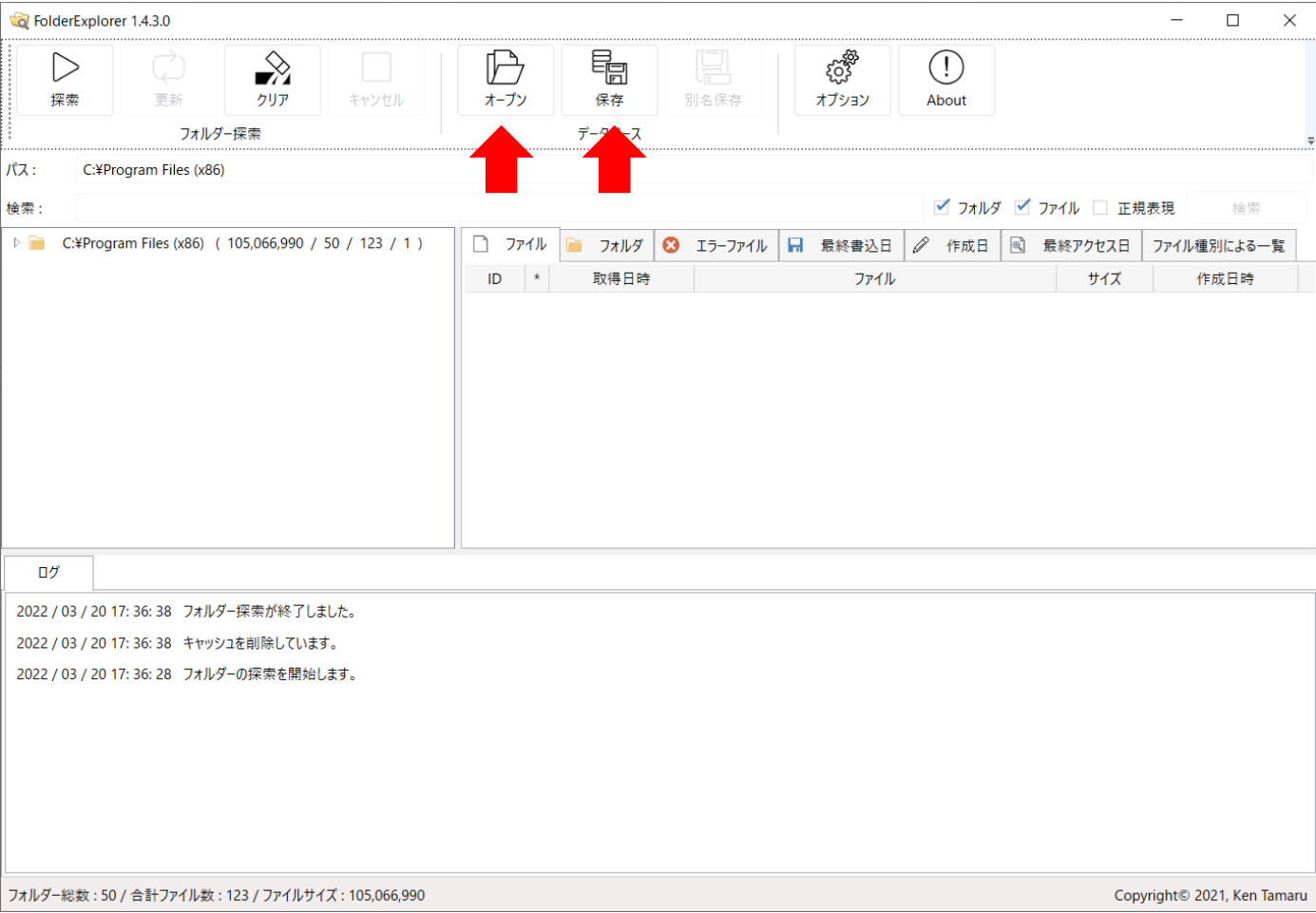
- ① Windows キーを押し、プログラム一覧の「最近追加されたもの」として表示される Folder Explorer もしくは、「Folder Explorer」を入力し、表示されたプログラムを実行します。



- ② Folder Explorer のツールバー上の「探索」を選択し、探索するフォルダーを選択します。フォルダー選択画面でフォルダーを選択することで、探索が自動的に開始されます。

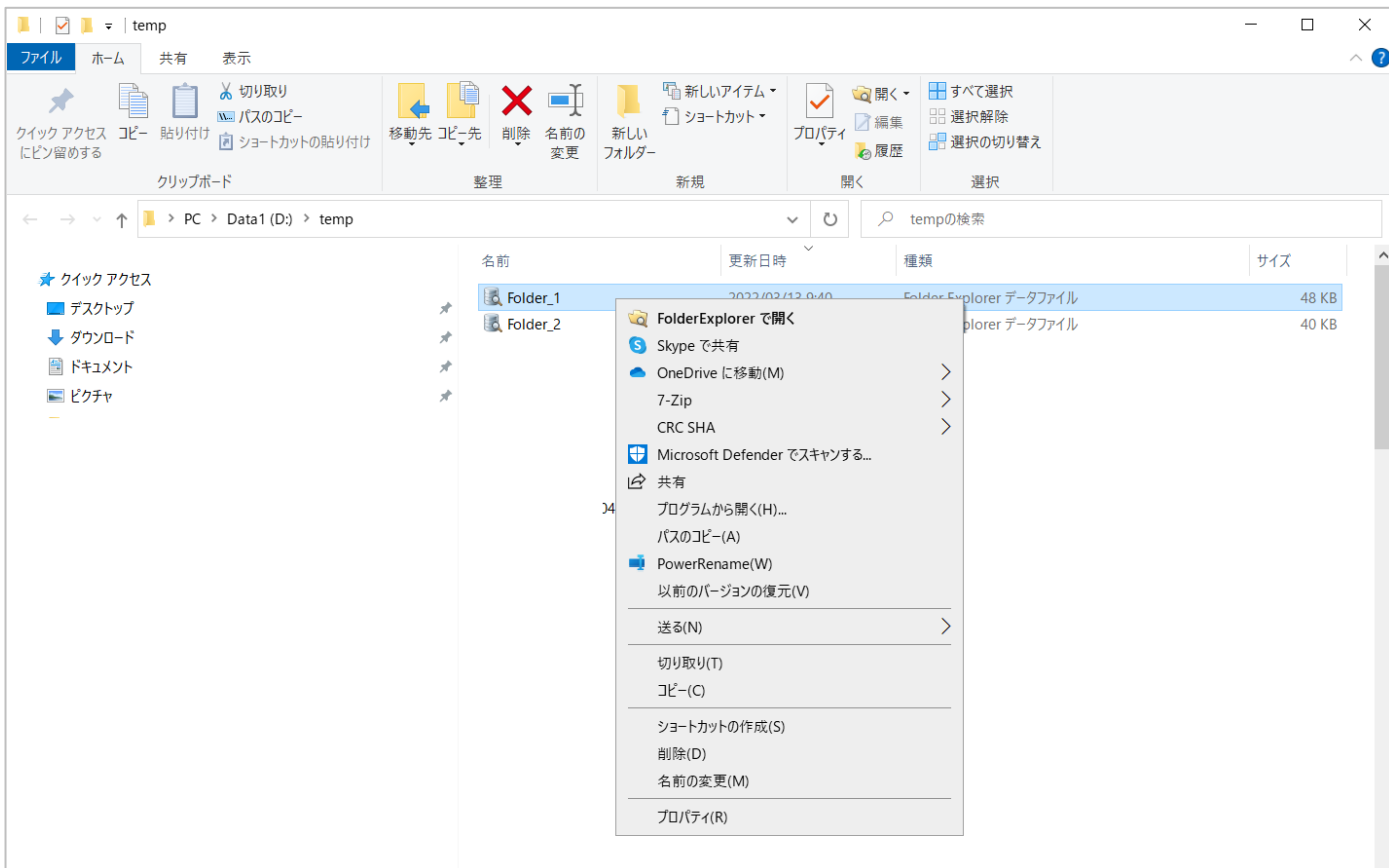


2. 主な機能機能：保存、読み込み



検索結果をツールバーの「保存」ボタンをクリックすることで保存できます。また、保存したデータを「オープン」で読み込むことができます。

2. 主な機能機能：エクスプローラー



エクスプローラー上で保存ファイルを選択し直接開くことができます。


• 方法 1

1. エクスプローラー上でフォルダーをダブルクリックします。

• 方法 2

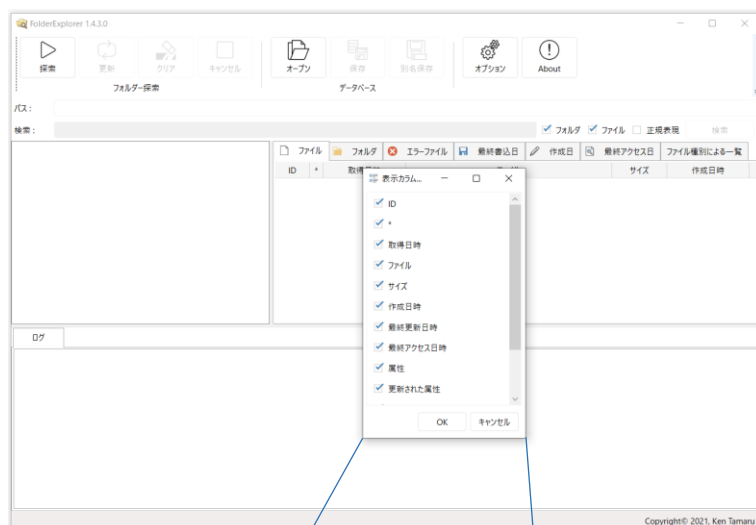
1. エクスプローラー上でフォルダーを選択しマウスの右ボタンをクリックします。
2. 表示されたコンテキストメニュー「Folder Explorerで開く」をクリックします。

• 方法 3

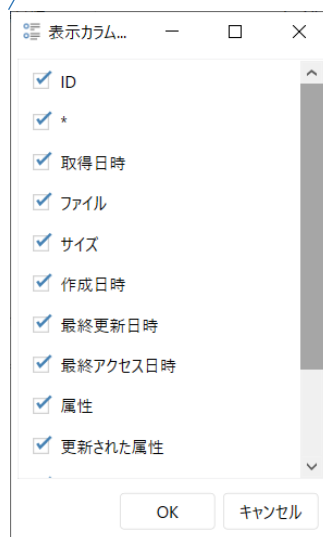
1. キーボードの「」を入力します。
2. 表示されたコンテキストメニュー「Folder Explorerで探索」をクリックします。

2. 主な機能機能：表示のカスタマイズ

- ❶ 一覧表示のヘッダー部でマウス右クリックし表示カラム選択ポップアップダイアログを表示します。



- ❷ W表示する列をチェック「☑」、非表示にする列のチェックを外す「☐」ことで表示要素を選択することができます。



3. その他

3. その他：追加・削除・更新の確認

更新「Update」することで、保存した検索データとの比較ができます。追加、削除、変更を色による判別することができます。
ハッシュ値を取得するよう設定されている場合は、ファイルの日付、サイズ等が同じであっても、内容が異なれば検出することができます。

FolderExplorer 1.4.2.0 - D:\Temp\Folder_1.fed

Explorer

Update

Clear

Cancel

Open

Save

Save as

Options

About

Path :

Search :

D:\Temp\Projects (13,143,444 / 83 / 215 / 0)

TestMVC (6,573,004 / 40 / 109 / 1)

TestMVC - コピー (6,570,440 / 40 / 106 / 1)

.vs (304,432 / 4 / 3 / 0)

TestMVC (6,264,881 / 34 / 102 / 4)

Areas (56 / 2 / 1 / 0)

Controllers (5,828 / 0 / 2 / 2)

obj (1,879,939 / 11 / 45 / 6)

Properties (1,075 / 0 / 4 / 4)

Views (23,693 / 3 / 13 / 2)

Customers (18,854 / 0 / 5 / 5)

Home (383 / 0 / 2 / 2)

Shared (4,325 / 0 / 4 / 4)

wwwroot (4,354,128 / 12 / 36 / 1)

File

Folder

Error files

Last Write

Creation

Last Access

List by file type

ID	*	取得日付	ファイル	サイズ	作成日時	更新日時	最終アクセス日時
114		2022/03/13 14:41:07	appsettings.Dev	162	2022/03/13 14:41:02	2020/07/26 17:32:23	2022/03/13 14:41:02
115		2022/03/13 14:41:07	appsettings.json	398	2022/03/13 14:41:02	2020/07/26 17:32:23	2022/03/13 14:41:02
116		2022/03/13 14:41:07	TestMVC.csproj	931	2022/03/13 14:41:02	2020/07/26 18:07:53	2022/03/13 14:41:02
117		2022/03/13 14:41:07	TestMVC.csproj	1,235	2022/03/13 14:41:02	2020/07/26 18:07:53	2022/03/13 14:41:02

Log

2022/03/13 14:42:48 Folder parsing completed

2022/03/13 14:42:48 Delete cache data

2022/03/13 14:42:48 Start parsing folder

2022/03/13 14:42:46 Loading data completed.

2022/03/13 14:42:46 Loading file type data.

2022/03/13 14:42:46 Loading last write date data.

2022/03/13 14:42:46 Loading last access date data.

2022/03/13 14:42:46 Loading creation date data.

Folder count : 83 / Total file count : 215 / Total file size : 13,143,444

Copyright© 2021, Ken Tamaru

	シングルステータス	マルチステータス
削除		
変更		
追加		

※マルチステータス：対象以外の変更ステータスが混在している

Copyright© 2022, Kenzaburo Tamaru

17

3. その他：コマンドラインオプション

Folder Explorerは幾つかの動作をコマンドラインオプションで指定することができます。

オプション	概要
/F <フォルダーパス>	Folder Explorer実行と同時にフォルダーパスで指定されたフォルダーを探索します。
/D <ファイルパス>	Folder Explorerによるフォルダー探索実行後にファイルパスで指定された場所・ファイル名で探索結果を保存します。
/O <ファイルパス>	Folder Explorer実行と同時にファイルパスで指定された保存データを読み込みます。
/A	コマンドラインオプションが指定されている場合、Folder Explorerは自動的に終了します。自動終了させない場合、このオプションを指定します。